



さぬき市民病院 No.64

院内かわら版

編集 総務企画課 平成 31 年 3 月 11 日 (月)

■平成 30 年度 地域包括医療・ケア研修会発表 [1 月 18 日～19 日]



去る 1 月 18 日～19 日にかけて、全国国保診療施設協議会の主催による平成 30 年度地域包括医療・ケア研修会が東京（アキバホール）で開催されました。今年のメインテーマは「地域包括ケアでの生きがいと働き方について考える」であり、私が発表するシンポジウム（I）「地域包括ケアでの生きがいと働き方について考える」はその中でもトップバッターの企画であり、「郡部にある二次機能病院の現状と取り組み」について報告しました。

特に、医師不足で悩んでいる郡部の医療では、他職種に比べて医師の時間外勤務が長く、平日の時間外に加えて、内科系では救急の対応時間が長いこと、外科系では休日の時間外勤務が長いこと、その他、小児科、婦人科、泌尿器科（透析）など、各科の事情によって要因が異なることを図で示しました。続いて、これらの対策として、医師事務作業補助の設置などで部分的に医師の文書業務が軽減されることがあっても、救急対応などの医療業務を軽減するか、医学部卒業後に一定の義務年限を設けて地域の医師数を増員しない限り、医師 1 人の業務負担は減少しないことを、助言者である厚生労働省医政局課長に訴えました。

また、医師以外の職種（特に看護師）についても、病棟や外来にクリニックを配置して業務の分別化を推進したり、回復期病棟には介護福祉士を多めに配置したりして、看護業務の負担軽減を図るなどの働き方の質も改革していることに触れ、これらの対策には財源が必要であり、現在の診療報酬には十分に反映されていない可能性があることを訴えました。発表当日の夜の情報交換会では、私の発表に賛同・共感した各地の指導者達から賛辞が寄せられ、懇親を深めました。



■平成 30 年度 四国DMAT実働訓練 [2 月 10 日]

2 月 10 日（日）、四国ブロック内のDMAT体制の強化及び関係機関との連携強化を目的に、四国各県のDMAT隊が参加する実働訓練が香川県で開催されました。訓練は、高松市南部を震源とするM7.1の地震を想定しており県内各地で建物の倒壊や人的被害がある中、医療機関の一部でも被害が出ている想定で病院倒壊のおそれがある病院の患者避難訓練などを行いました。

当院からはDMAT2チーム(医師2名、看護師4名、業務調整員4名)が訓練プレイヤーとして参加し、旧高松市民病院跡地を舞台に現場指揮、トリアージ、患者搬送などの実働訓練を行いました。四国各県から42チーム、計215人のDMAT隊が集まり、四国ブロック内のDMAT体制強化に繋がる有意義な訓練となりました。



■新型インフルエンザ等感染対策総合訓練実施 [2月15日]

2月15日(金)、院内感染防止対策委員会が中心となり、病院西側の作業棟内に仮設した診察室(陰圧テント)において、平成30年度第2回感染対策総合訓練を実施しました。感染防御対策として迅速に防護服を着用し適切な診察が行えるか、また診察室から感染病棟までの患者搬送における円滑な移送体制を構築できるか等、病院職員における対応能力の向上を図ることを目的に行いました。今回のような訓練を積み重ねていくことで、新型インフルエンザ等感染患者が来院した際には、迅速かつ的確な初動対応ができるよう努めて参ります。



♥ 新人スタッフ紹介

1月から新たな職員が加わりましたので、ご紹介いたします。



やまむら しろう
山村 将
[研修医]

内科で研修させて頂きます。上級医の先生方が丁寧に指導して下さいます。何卒、よろしくお願い致します。

■職員接客研修開催 [2月27日]

2月27日(水) 当院2階会議室にて、平成30年度さぬき市民病院職員接客研修会を開催しました。

ビジネスマナー講師 谷澤 優花氏をお招きし「患者応対とチーム医療に求められること」と題して、職員全員が身に付けておくべき接客マナーの習得を目的とした講義形式の研修を行いました。前年度の接客研修で好評であった実践形式を取り入れました。



講義が進むにつれ、受講者の表情からは自然と笑みがこぼれており実のある研修となりました。

接客の習得は、患者サービスの重要なもののひとつであることを職員全体で再認識し、今後も患者さんに満足していただけるサービスが提供できるよう日々研鑽していきます。

■院内研究発表会開催 [2月9日]

2月9日(土) 当院2階会議室で、第12回さぬき市民病院院内研究発表会を開催しました。当日は、約100名の参加があり16演題が発表されました。発表者の皆さんはもとより準備等にご協力された方々は、大変お疲れ様でした。なお、審査の結果は次のとおりです。



1位 臨床検査科 梶川 知恵さん

「尿試験紙を用いたアルブミン/クレアチニン比(A/C比)の有用性」

2位 リハビリ科 村川 勇一さん

「当院における高齢者肺炎患者のADL回復に影響する因子の検討」

3位 栄養管理科 安富 緑さん

「調理師の食事サービスに対する取り組み～食べる楽しみを提供するための工夫(保育所給食)～」

■医療安全研修開催 [2月19日、20日]

2月19日(火)、20日(水)の2日間、当院2階会議室で、全職員を対象に「過去に経験したインシデント報告とその対策 ～その後を振り返って～」をテーマに、各部署から発表が行われました。参加者からは、「改めて医療安全について考える機会となった。」「慣れや過信に気をつけて業務に取り組むことを心がける。」「さらに日々の業務に気をつけていきたい。」などの声がありました。

今後も職員全体で、医療安全対策に関し、より細心の注意を払った業務に取り組んでいきたいと考えています。

